

たのしいプリントだ！



# 口コモ 4 - 1

なまえ

---

たしざんをしましょう。

$1 + 1 =$

$6 + 1 =$

$2 + 1 =$

$7 + 1 =$

$3 + 1 =$

$8 + 1 =$

$4 + 1 =$

$9 + 1 =$

$5 + 1 =$

$2 + 1 =$

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

# 口コモ 4 - 2

なまえ

---

たしざんをしましょう

$3 + 1 =$

$6 + 1 =$

$8 + 1 =$

$1 + 1 =$

$5 + 1 =$

$4 + 1 =$

$7 + 1 =$

$9 + 1 =$

$2 + 1 =$

$8 + 1 =$

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

口コモ 4 - 3

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

な つら  
泣き面に

な  
慣れよ



な  
無くて

はち  
蜂



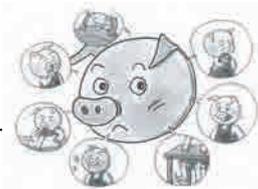
なら  
習うより

ため  
為ならず



な  
為せば

なな  
七くせ



なさ ひと  
情けは人の

な  
成る



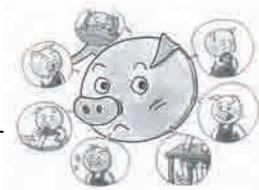
# 口コモ 4-4

なまえ

せん  
線でむすびましょう。

なさ ひと  
情けは人の

なな  
七くせ



な  
為せば

はち  
蜂



な つら  
泣き面に

ため  
為ならず



なら  
習うより

な  
成る



な  
無くて

な  
慣れよ



# ロコモ 4-5

なまえ

せん  
線でむすびましょう。

なさ  
情けは  
ひと ため  
人の為ならず

な  
無くて七くせ  
なな

なら  
習うより慣れよ  
な

な  
泣き面に蜂  
つら はち

な  
為せば成る  
な

わる つづ  
悪いことが続いておきる



なん  
何でもできる



ひと くせ  
人にはだれでも癖がある



れんしゅう  
たくさん練習しよう



よ  
良いことをして、よかった!



# 口コモ 4 - 6

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

なさ  
情けは  
ひと  
人の為<sup>ため</sup>ならず

な  
無<sup>な</sup>くて七<sup>なな</sup>くせ

なら  
習<sup>な</sup>うより慣<sup>な</sup>れよ

な  
泣<sup>つら</sup>き面<sup>はち</sup>に蜂

な  
為<sup>な</sup>せば成<sup>な</sup>る

その気<sup>き</sup>になってやれば何<sup>なん</sup>でも  
できる。



わる  
悪い<sup>うえ</sup>ことの上<sup>わる</sup>にさらに悪い  
ことが重<sup>かさ</sup>なること。



ひと  
人はだれでも七<sup>なな</sup>つくらいは  
癖<sup>くせ</sup>がある。



おそ  
教<sup>れんしゅう</sup>わるよりも、練習<sup>れんしゅう</sup>したほう  
が効果<sup>こうか</sup>的<sup>てき</sup>である。



なさ  
情<sup>ひと</sup>けを人<sup>ひと</sup>にかけると自分<sup>じぶん</sup>に  
良い<sup>よ</sup>ことが返<sup>かえ</sup>ってくる



# 口コモ 4 - 7

なまえ \_\_\_\_\_

かけざんをしましょう。

$$2 \times 1 = 2$$

$$2 \times 2 =$$

$$2 \times 3 =$$

$$2 \times 4 =$$

$$2 \times 5 =$$

2

4

6

8

10

かけざんをしましょう。

$$2 \times 5 =$$

$$2 \times 6 =$$

$$2 \times 7 =$$

$$2 \times 8 =$$

$$2 \times 9 =$$

10

12

14

16

18

口コモ 4 - 9

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

な はな  
菜の花や

まけるな<sup>いっさ</sup>一茶  
これにあり



おとろ  
衰えや

ひる  
昼ひとしきり  
うみ おと  
海の音



がえる  
やせ蛙

はな お  
花を折るにも  
くちま  
口曲げる



# 口コモ 4 - 10

なまえ

せん  
線  
でむすびましょう。

おとろ  
衰えや

はな  
花を折るにも  
くちま  
口曲げる



な はな  
菜の花や

まけるな一茶  
これにあり

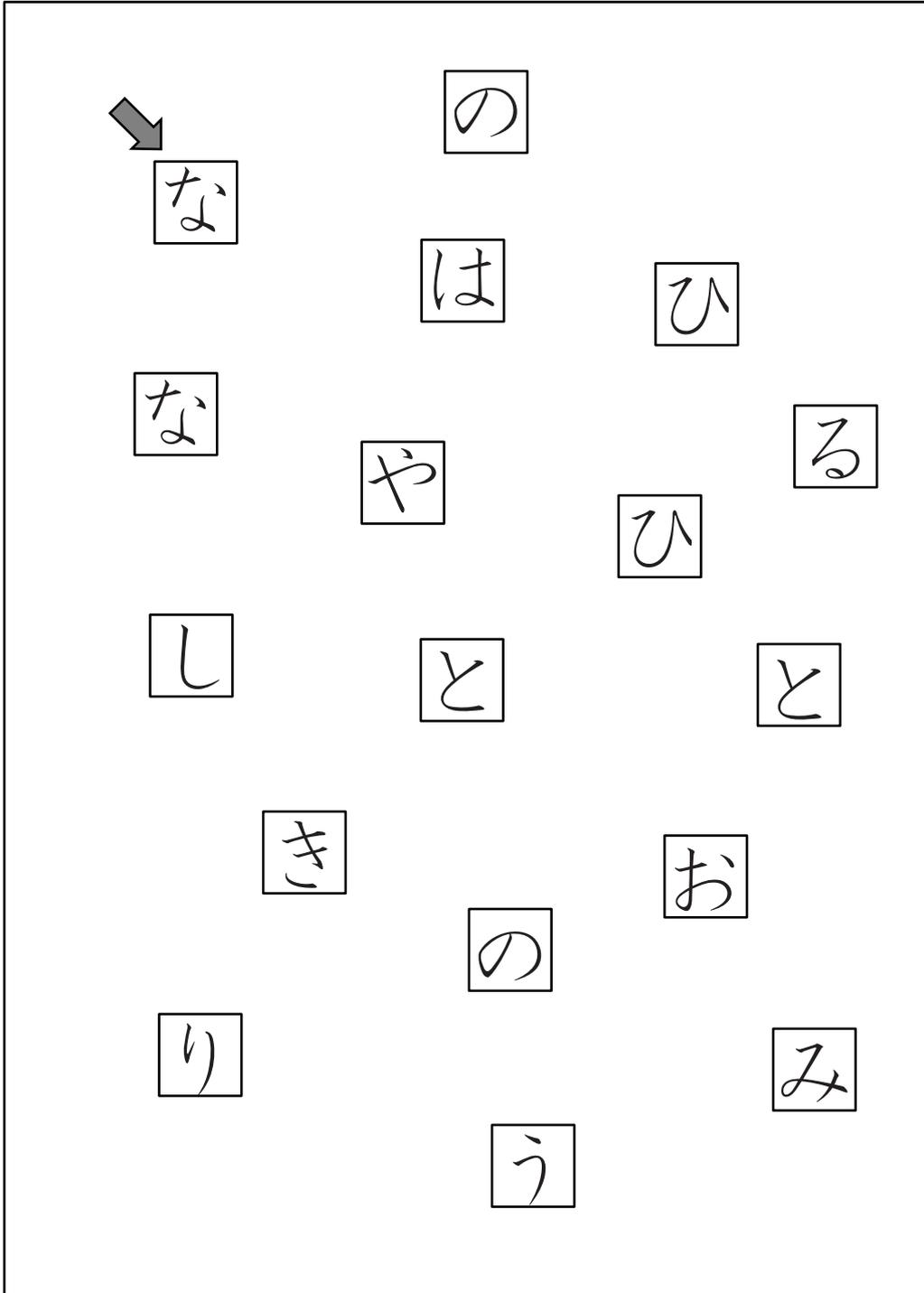


がえる  
やせ蛙

ひる  
昼ひとしきり  
うみ  
海の音



せん  
線でむすびましょう。

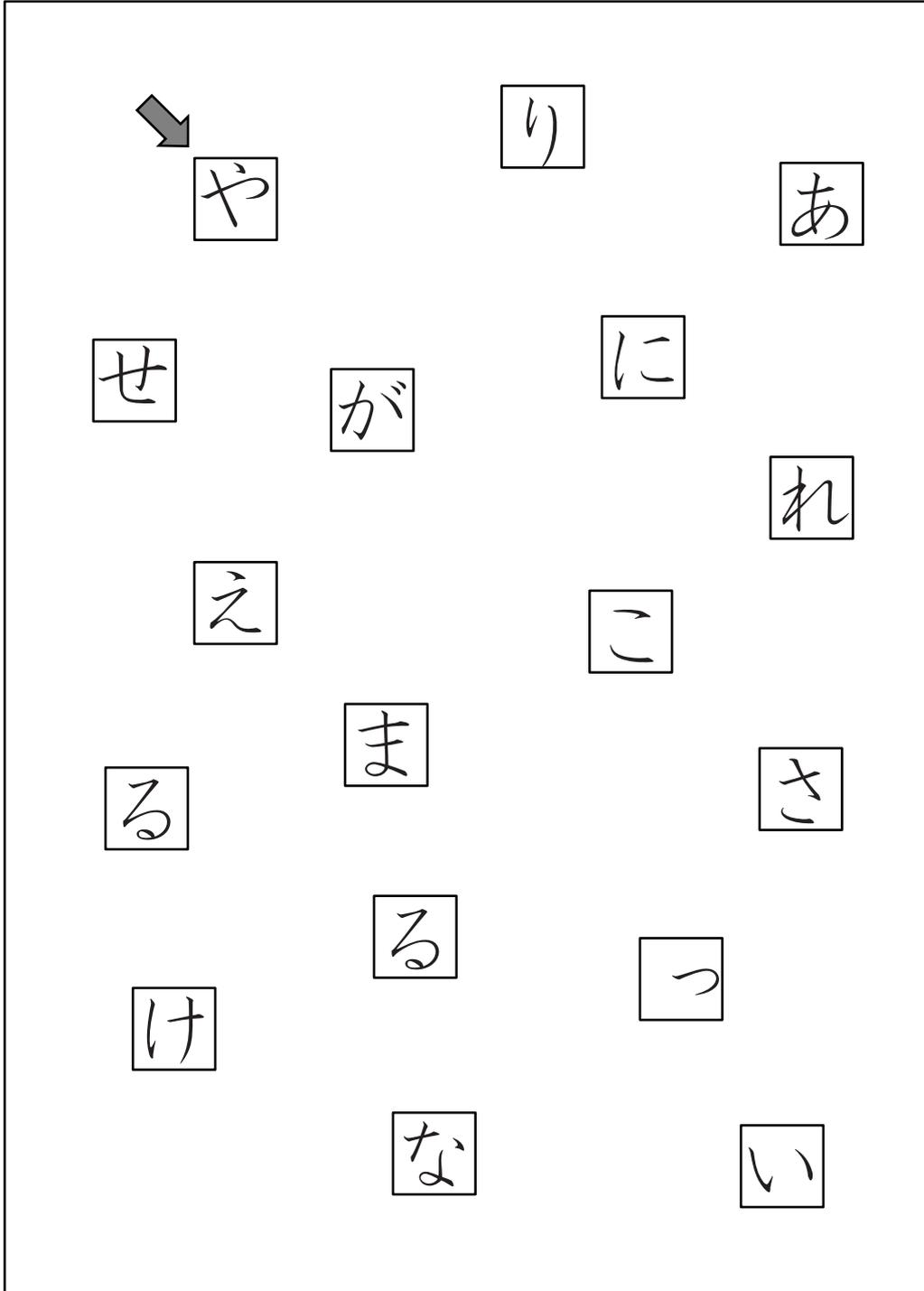


な  
の  
は  
な  
や  
ひ  
る  
ひ  
と  
し  
き  
り  
...

# 口コモ 4 - 12

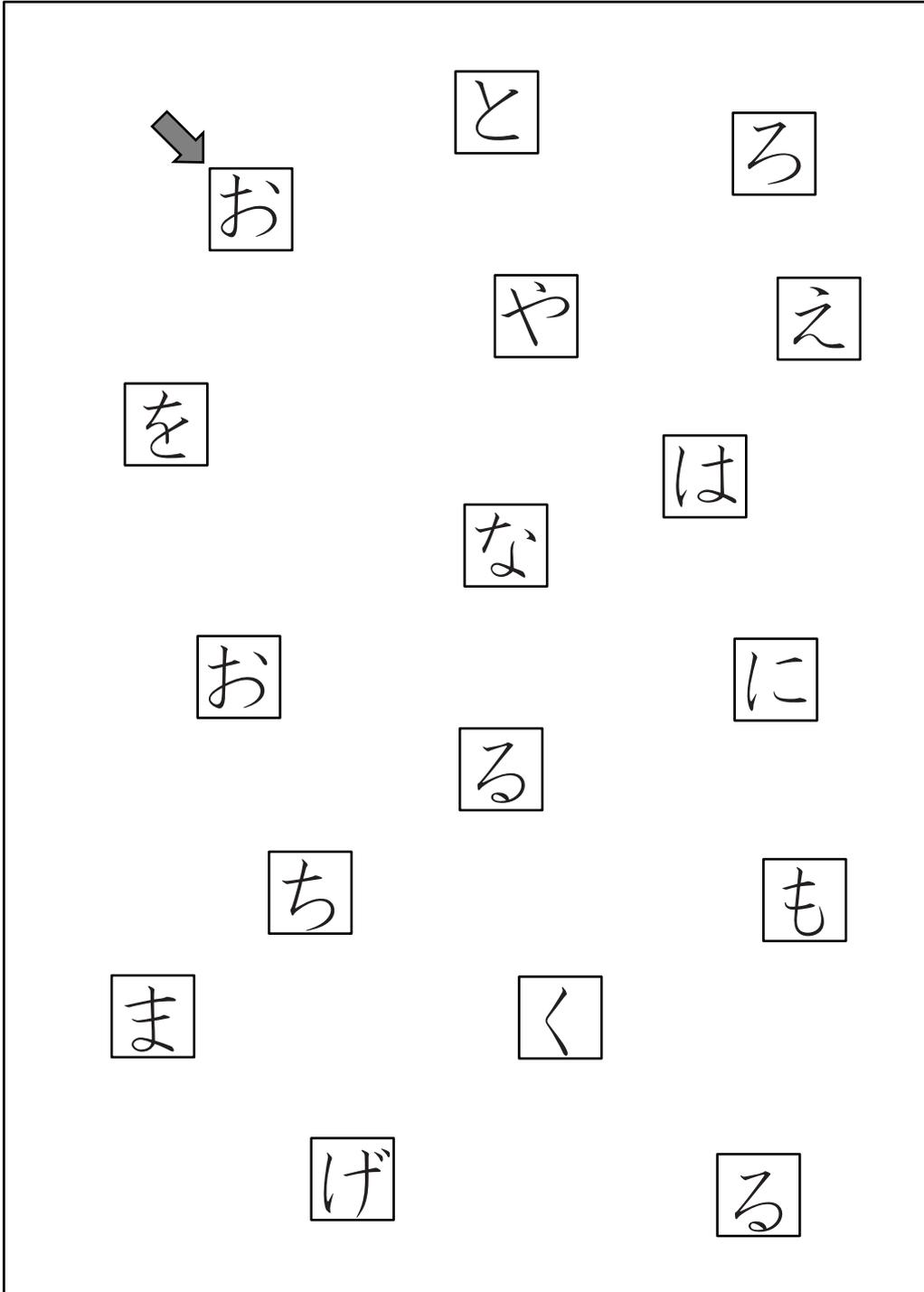
なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。



やせがえる……

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。



おとろえや……

口コモ 4 - 14

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

			や
			□
		ま	が
		け	え
		□	
	□	な	
	れ	□	
	□	っ	
		□	
		あ	
		り	
こ 小 林 一 茶	ば やし い っ さ		

口コモ 4 - 15

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

お

え

や

な

を

お

る

も

ま

げ

る

小

林

一

茶

口コモ 4 - 16

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

			な
		□	□
		る	は
		□	な
	□	と	や
	み	□	
与	□	き	
謝	お	り	
蕪	□		
村			

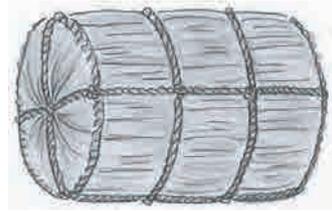
ロコモ 4 - 17

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

いっ 個  
一 個

こ  
め  
だ  
わ  
ら



いっ ぱよう  
一 俵

く  
つ  
し  
た



いっ ぞく  
一 足

み  
か  
ん

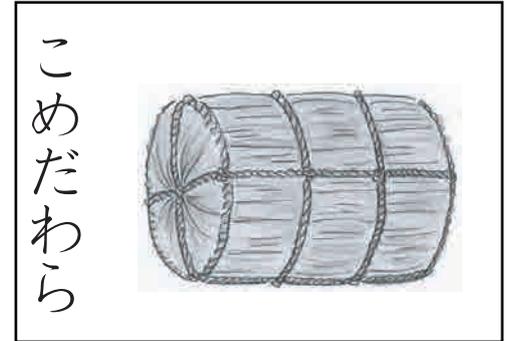


# 口コモ 4 - 18

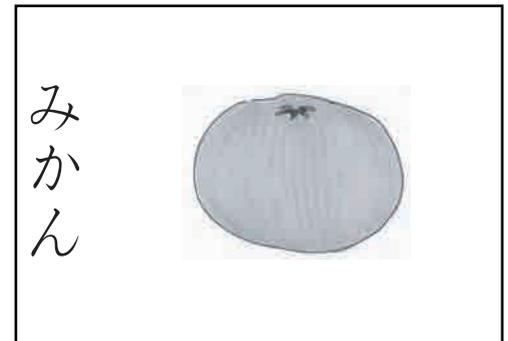
なまえ

せん  
線  
でむすびましょう。

いっ こ  
一 個



いっ そく  
一 足



いっ ぴょう  
一 俵



# 口コモ 4 - 19

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

つめ  
爪

なが  
を長くする



くび  
首

お  
を押す



ねん  
念

をかくす



線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

ねん お  
念を押す

のうりよく ひと み  
能力ある人は見せたり  
しない。



つめ  
爪をかくす

まだかなあ。  
もうくるかなあ。



くび なが  
首を長くする

だいじょうぶだね。  
まちがないね。



# 口コモ 4-21

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

爪<sup>つめ</sup>をかくす

まちがいがないように、  
くり返し<sup>かえちゆうい</sup>注意すること。



首<sup>くび</sup>を長<sup>なが</sup>くする

才能<sup>さいのう</sup>を表<sup>おもて</sup>に出<sup>だ</sup>さず、いざと  
いうときには発揮<sup>はつき</sup>すること。



念<sup>ねん</sup>を推<sup>お</sup>す

物事<sup>ものごと</sup>が実現<sup>じつげん</sup>することを今<sup>いま</sup>か  
今<sup>いま</sup>かと待ちこがれること。



下から選んで慣用句をつくりましょう。

をかくす

なが  
を長くする

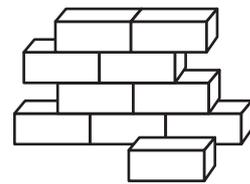
お  
を押す

ねん つめ くび

ヘンゼルとグレーテルが<sup>もり</sup>森<sup>なか</sup>の中でみつけた  
<sup>いえ</sup>家は何でできていましたか。  
○をつけましょう。



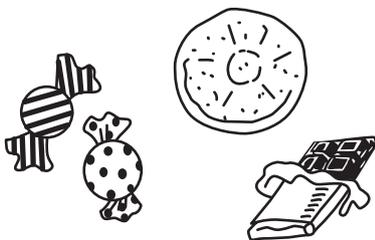
ほん



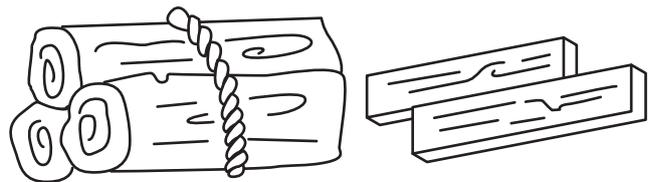
レンガ



タイヤ



おかし



き

ヘンゼルは、どうやって魔<sup>ま</sup>女<sup>じょ</sup>をだましていたのですか。



- 1 つえをさわらせていた。
- 2 にわどりのほねをさわらせていた。
- 3 こ<sup>いし</sup>石をさわらせていた。

口コモ 4 - 25

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

みかの原<sup>はら</sup>  
わきて流<sup>なが</sup>るる izzumi川<sup>がわ</sup>

吉野<sup>よしの</sup>の里<sup>さと</sup>に  
降<sup>ふ</sup>れる白雪<sup>しらゆき</sup>

嘆<sup>なげ</sup>きつつ  
ひとり寝<sup>ぬ</sup>る夜<sup>よ</sup>の明<sup>あ</sup>くる間<sup>ま</sup>は

人<sup>ひと</sup>知<sup>し</sup>れずこそ  
思<sup>おも</sup>ひ初<sup>い</sup>めしか

朝<sup>あさ</sup>ぼらけ  
有<sup>あり</sup>明<sup>あけ</sup>の月<sup>つき</sup>と 見<sup>み</sup>るまでに

いかに久<sup>ひさ</sup>しき  
ものとかは知<sup>し</sup>る

恋<sup>こい</sup>すてふ<sup>ちよう</sup>  
わが名<sup>な</sup>はまだき 立<sup>た</sup>ちにけり

いつ見<sup>み</sup>きとてか  
恋<sup>こい</sup>しかるらむ

口コモ 4 - 26

なまえ

線<sup>せん</sup>でむすびましょう。

なげ  
嘆きつつ  
ひとり寝る夜<sup>よ</sup>の明<sup>あ</sup>くる間<sup>ま</sup>は

♣  
いつ見<sup>み</sup>きとてか  
恋<sup>こい</sup>しかるらむ

こい ちょう  
恋<sup>こい</sup>すてふ  
わが名<sup>な</sup>はまだき立<sup>た</sup>ちにけり

よしの さと  
吉野<sup>よしの</sup>の里<sup>さと</sup>に  
降<sup>ふ</sup>れる白雪<sup>しらゆき</sup>

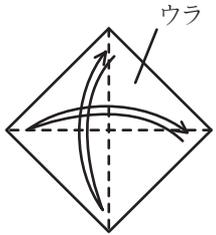
みかの原<sup>はら</sup>  
わきて流<sup>なが</sup>るる づみ川<sup>がわ</sup>

ひとし  
人<sup>ひとし</sup>知れずこそ  
思<sup>おも</sup>ひ初<sup>い</sup>めしか

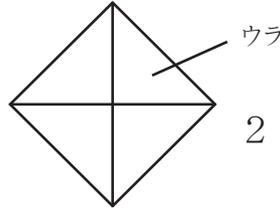
あさ  
朝<sup>あさ</sup>ぼらけ  
有<sup>あり</sup>明<sup>あけ</sup>の月<sup>つき</sup>と 見<sup>み</sup>るまでに

ひさ  
いかに久<sup>ひさ</sup>しき  
ものとかは知<sup>し</sup>る

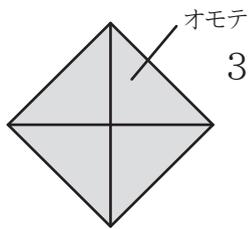
## 《だましぶね》



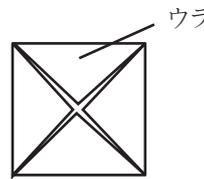
1 たてよこに さんかくに おる。



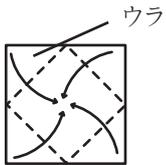
2 ひろげて、うらがえす



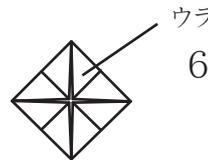
3 かどをが まんなかに くるように おる



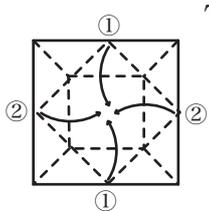
4 うらがえす



5 もういちど かどが まんなかに くるように おる



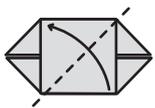
6 ぜんぶひらく



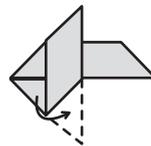
7 ①を どうじに まんなかで あわせながら、②どうしを まんなかで くっつける



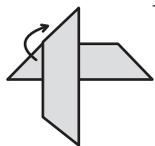
8 うらがえす



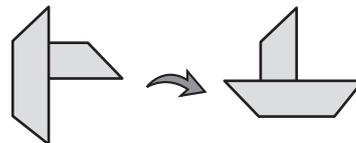
9 ななめに おる



10 したのぶぶんをくるりと うしろから ひっくりかえす



11 ひだりがわの さんかくの ぶぶんを うえに つきでている さんかくに あわせるように おりかえす



この ぶぶんを うえに むけたら だましぶねの かんせい